

令和6年度

自己評価報告書

令和 7 年 3月 25日

高知福祉専門学校

目 次

I. 自己評価2～17ページ

1. 教育理念、目的

2. 令和6年度の目標と計画

3. 評価の達成及び取組状況

- ① 教育理念・目的・育成人材像
- ② 学校運営
- ③ 教育活動
- ④ 学修成果
- ⑤ 学習支援
- ⑥ 教育環境
- ⑦ 学生募集と受入れ
- ⑧ 財務
- ⑨ 法令等の遵守
- ⑩ 社会貢献・地域貢献
- ⑪ 総括

4. 自己評価結果（総括）

II. 学校関係者評価18ページ

高知福祉専門学校 学校関係者評価

※学校関係者評価の総合的な評価は必ずご記入ください。
※その他の欄はご意見ご要望がございましたらご記入ください。

*自己評価における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする。

各点検項目は4段階で評価する。

（4: 十分である、3: 概ね十分である、2: やや不十分である、1: 不十分である）

評価項目は各点検項目の数値を平均化し、4段階で評価する。

（4: 十分である、3: 概ね十分である、2: やや不十分である、1: 不十分である）

1. 教育理念、目的

教育理念	福祉・教育・医療分野において必要な、知識や技術を習得するとともに、礼儀・礼節を培い、豊かな人間性を形成し、福祉・教育・医療現場に貢献できる人材を育成する。
目的	本校は学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、福祉・教育・医療を中心にした人物の育成、ならびに広く社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

2. 令和6年度の目標と計画

目標	(重点目標) 1. 社会福祉学科 (1)定員確保 (2)各種資格の取得・卒業後の国家試験合格 (3)就職率100% (4)退学率低下 2. 介護福祉学科 (1)定員確保 (2)介護福祉士国家試験合格率100% (3)就職率100% 3. こども福祉学科 (1)定員確保 (2)保育士資格取得 (3)就職率100% (4)退学率低下
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) (1)広報活動の充実 (2)補講および試験・検定対策 (3)就職試験対策 (4)個人面談、集団面談、およびガイダンスの充実

① 教育理念・目的・育成人材像

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	教育理念等は、明確に定められており、広く周知徹底をしている。 また福祉・教育・医療業界のニーズを取得しながら、中長期視点での将来構想も策定している。
取組状況と その分析	教育理念等は明確に定められており、教職員については年度当初指針にて周知している。 また学生・保護者に対しては学生便覧において、対外的にはホームページ、学校案内において公表している。
今後の 改善方策等	引き続き、社会情勢や、福祉・教育・医療業界のニーズを掴みながら、教育理念等へフィードバックをして改善を進めていく。

総合評価

1-1	教育理念・目的・育成人材像（以下「教育理念等」）は、定められていますか	4
1-1-a	教育理念等はそれぞれ定められていますか	4
1-1-b	教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	4
1-1-c	学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	4
1-1-d	教育理念等を学校外に広く公表していますか	4
実施状況等	ホームページ、学校案内、オリエンテーション等により アドミッションポリシーについては学内外へ周知している。	
確認資料	学校案内、ホームページ、学生便覧、オリエンテーション資料	

1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	4
1-2-a	中期的（3～5年程度）な視点で、学校の将来構想を描いていますか	4
1-2-b	地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	3
実施状況等	法人理事会・評議員会により中長期の構想策定を行っている。 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会や一般社団法人保育士養成協議会や一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟等への加入により、活発に意見交換を行っている。	
確認資料	理事会・評議員会資料 各協会ホームページ	

② 学校運営

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	学内の意思決定において、学則および学校案内において定められている組織・会議・委員会は、問題なく運用されている。
取組状況と その分析	本校の運営方針は、教育理念に沿って定められており、それに基づいて毎年、事業計画を策定・執行している。組織運営は、運営規定が整備されており、法人理事会や評議員会で審議・決定している。また人事・給与規定も就業規則として整備されており、それに則り運用されている。
今後の 改善方策等	開校から長い年月が経過しており、本校の運営に関しては、適切に運営されていると言える。さらに教務・事務における業務の在り方について見直していく。また、業務の効率化についても随時検討し実践をしていく。

2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	4
2-1-a	運営方針は定められていますか	4
2-1-b	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	4
2-1-c	運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	4
実施状況等	教育方針は学校案内に掲載し、教職員・学生ともに把握している。	
確認資料	学校案内	

2-2	事業計画を作成し、執行していますか	4
2-2-a	事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいますか	4
2-2-b	事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	4
実施状況等	毎年、学校運営の事業計画は策定され、それに沿って教育方針や教育計画の策定される。	
確認資料	理事会・評議員会資料	

2-3	組織運営は適切に行われていますか	4
2-3-a	寄附行為、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されていますか	4
2-3-b	意思決定に至る手順・ルートは規程等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	4
実施状況等	法人理事会・評議員会で運営における年間重要案件は審議決議されている。	
確認資料	理事会・評議員会資料	

2-4	人事・給与に関する制度を確立していますか	4
2-4-a	人事・給与規程等が整備され、運用されていますか	4
実施状況等	人事考課、昇進、昇格、昇給に関しての制度は整備されている。	
確認資料	就業規則	

2-5	業務の効率化を図っていますか	4
2-5-a	情報システム化に取組むなど業務の効率化に努めていますか	4
実施状況等	ホームページによる証明書発行など、事務業務の効率化を進めている。また事務室内においてネットワークの構築をしており、情報共有による業務の効率化を行った。	
確認資料	ホームページ	

③ 教育活動

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	「授業計画（シラバス）」通りに授業等は運営できた。 社会福祉学科は、社会福祉士国家試験受験基礎資格をはじめ保育士や幼稚園教諭などの幅広い分野の資格を取得。第36回社会福祉士国家資格に29名中5名合格する。 介護福祉学科は、介護福祉士国家試験合格率100%を目標としており、今年度については自己採点の結果100%（3名中3名）であった。※合格発表3/24 就職は県内福祉業界に3名中2名が就職した。1名は県内学校に進学した。 こども福祉学科は、多くの学生が保育士・幼稚園教諭を取得。大半の卒業生が県内の児童・障害分野に就職しており、深刻な保育士不足にも貢献できていると思われる。
取組状況と その分析	目標の設定、教育課程・教育方法・評価、成績評価・単位認定は、明文化した上で運用しており、概ね評価できる。資格の取得に必要な指導体制も整っており、資格取得の結果も出ている。また、本校独自の教育を取り入れることで、対人援助者に必要な職業倫理観を養っており、効果的な学生の指導体制が構築されている。
今後の 改善方策等	社会福祉学科は、社会福祉士国家試験の合格者増を目指す。 介護福祉学科は、介護福祉士国家試験において、次年度も全員合格を目指す。 こども福祉学科は、福祉・教育業界への就職推進を図り保育士不足解消に引き続き貢献する。

◎目標の設定等

3-1	3-1教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	4
3-1-a	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	4
実施状況等	現場に求められる人材を育成するように努めている。	
確認資料	シラバス、時間割	

◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	4
3-2-a	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	4
3-2-b	教育課程（カリキュラム）は、事前に学生に開示されていますか	4
3-2-c	総授業時数は1,700時間以上ですか	4
実施状況等	厚生労働省の指定規則カリキュラムを基準にしている。 カリキュラム編成について学科内で検討している。	
確認資料	学則、学校案内、ホームページ、学生便覧	

3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	4
3-3-a	キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）（平成23年1月31日）の内容を参照していますか	4
3-3-b	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	4
実施状況等	両学科ともに、学外実習の他に多くのボランティア活動やゼミ授業において施設見学などを実施して、高い職業観の育成を図っている。教育課程編成委員会開催。	
確認資料	実習計画表、ボランティア実績一覧、学校案内、ホームページ、時間割、教育課程編成委員会議事録	

3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	4
3-4-a	学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	4
3-4-b	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	4
3-4-c	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、授業科目等教育課程を編成・見直していますか	4
3-4-d	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っていますか	4
実施状況等	アンケートや特別授業の開催をしている。教育課程編成委員会開催。	

確認資料	アンケート用紙、時間割、教育課程編成委員会議事録、実習関係書類	
◎成績評価・単位認定等		
3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	4
3-5-a	成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	4
3-5-b	成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	4
実施状況等	基準は明確である。	
確認資料	学則、学生便覧	

3-6	成績評価等を適正に行っていますか	4
3-6-a	判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	4
3-6-b	「職業実践専門課程」専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っていますか	4
実施状況等	判定会議を開いている。実習反省会への出席。	
確認資料	判定会議議事録、実習評価表、実習巡回表	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	4
3-7-a	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	4
3-7-b	カリキュラムや授業計画（シラバス）は文書化またはデータ化し、学生に配付していますか	3
実施状況等	カリキュラムや授業計画（シラバス）については文書化し、学生に配布している。データ化については、今後ホームページでの公開を進めている。	
確認資料	学生便覧、時間割、ホームページ	

3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
3-8-a	資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況等	検定対策講義、国家試験対策講義を実施している。	
確認資料	学生便覧、時間割	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	4
3-9-a	教員数は関係法令等を満たしていますか	4
3-9-b	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	4
実施状況等	厚生労働省指定の選任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。	
確認資料	厚生労働省提出書類、教員研修会資料	

3-10	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	3
3-10-a	専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	4
3-10-b	校内研修（OJT）を行っていますか	2
3-10-c	企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか（専各連合会主催研修会以外のもの）	4
3-10-d	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させていますか	4
3-10-e	教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	3
実施状況等	各種専門団体主催の研修会に参加している。	
確認資料	（公社）日本介護福祉士養成施設協会、（一社）保育士養成協議会、教員研修規程 （一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟、外部団体関連業務規程、各研修報告書	

◎地域に根ざした教育〈重要〉

3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	4
3-11-a	県内の人材を活用して、授業等を行っていますか	4
3-11-b	県内の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか	4
3-11-c	県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	4
3-11-d	県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	3
実施状況等	献血やボランティア活動など地域の社会福祉に貢献しながら、対人援助者に必要な教育を実施した。特別授業の実施（他校との連携）、出前授業の実施なども積極的に行った。	
確認資料	レジュメ、時間割、決裁書類	

3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	3
3-12-a	学生が高知県や各市・町の自然、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	3
3-12-b	交通安全教育を行っていますか（交通事故死者数全国ワースト上位からの脱却を図るべく教育を行っていますか）	3
3-12-c	公共のマナーについて、教育・指導していますか	3
実施状況等	登校時間に学生に声かけをする中で、交通安全教育を行っている。公共のマナーについては、ボランティア活動など社会に開かれた取り組みにより培っている。県の歴史に触れる授業を実施	
確認資料	時間割、交通安全リーフレット、オリエンテーション資料、高齢者の歩んだ時代冊子	

④ 学修成果

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	本校における最終的な学修成果とは、専門職を養成することであり、ひいては各種資格取得と関連業種への就職にある。いずれの学科も下記のとおり、本校の教育による成果が現れていると思われる。
取組状況とその分析	社会福祉学科：児童分野から高齢分野まで多分野にわたる資格取得を目指す。また就職においても、取得した資格を活かした関連分野への就職に繋がっている。 介護福祉学科：模擬試験や国家試験対策（反復学習）を集中して実施。 自己採点の結果100%（3名中3名）が介護福祉士国家試験に合格基準に達した。 介護福祉士求人は、県内外を問わず多くの求人が寄せられた。 就職は県内福祉業界に3名中2名が就職した。1名は県内学校に進学した。 こども福祉学科：こども福祉学科は要件を満たした学生においては、卒業と同時に保育士資格が付与されている。現在保育士の人材不足は深刻で、全国から多くの求人があるほど。そのなかで100%に近い学生が保育分野に就職している。
今後の改善方策等	社会福祉士は、卒業後の国家試験受験となるため、卒業後の試験対策講座や全国統一模擬試験などの取り組みを続けていく。 介護福祉士は1月受験と国家試験の中では、早期に試験があるため、次年度も早い時期から対策に取り組む。

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	4
4-1-a	資格・免許取得率の目標設定をしていますか	4
4-1-b	取得率向上のための対策等を講じていますか	4
実施状況等	目標設定は明確である。模擬試験集計データを分析し、教員間で情報共有を実施している。専任教員を中心に各種検定対策および国家試験対策を実施している。	
確認資料	時間割、模擬試験集計データ、社会福祉士国家試験対策講座	

4-2	就職率の向上が図られていますか	4
4-2-a	学生に就職に対する目標を立てさせていますか	3
4-2-b	学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	4
実施状況等	就職ガイダンスおよび個別指導、グループ指導、三者面談を実施している。特に学外実習を始めボランティア派遣など現場を見て就職先を選ぶよう指導している。	
確認資料	学校案内、ホームページ、時間割、三者面談日程表	

4-3	高知県内、関連業界への就職が図られていますか	3
4-3-a	早期から、県内または関連業界へ就職することの意義・メリット等について説明していますか	3
4-3-b	高知県内への就職率の向上は図られていますか	3
4-3-c	関連業界への就職率の向上は図られていますか	3
実施状況等	就職ガイダンスおよび個別指導、グループ指導を実施している。また学外実習等により、本校学生の県内での就職意欲は高い。	
確認資料	学校案内、ホームページ、時間割	

⑤ 学習支援

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	毎年ほぼ100%の就職内定率となっているが、引き続き積極的な求人依頼等を通じ就職先の選択肢を広げる。日々の学生からの相談等については、各クラス担任の教員がこれに対応している。中途退学防止については、学力面や経済面など様々な要因が挙げられるが、個別対応を基本として各状況にできしており、今後も継続した関わりを行っていくことが求められている。
取組状況と その分析	就職ガイダンスへの参加や授業にて就職指導を実施し、グループや個別的に指導を実施している。複数回の個人面談の実施とともに、面談が必要な学生の保護者との三者面談も適時実施し、共有できる体制作りを整えている。また県内の主たる福祉関係団体に求人依頼を行い、就職支援も実施できた。教員による奨学金や就学資金など金銭面に関する細やかなサポートができるようになっている。
今後の 改善方策等	毎年、様々な要因により中途退学者は出ている。ただ学校の対応によってその要因を解消でき、就学が継続できるよう、引き続き継続的な対応を行っていく。

◎中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	4
5-1-a	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	4
5-1-b	中途退学防止のための対策を講じていますか	4
実施状況等	複数回の個人面談の実施に加え、問題を抱える学生には随時対応し、保護者と電話等による連携をとるなどを行っている。学生への個別指導の機会を増やし、退学防止に努めている。	
確認資料	三者面談通知書、成績報告書、出席状況報告書、クラス状況報告書	

◎就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	3
5-2-a	就職等に関する支援部署・相談部署（就職担当部門）はありますか	3
5-2-b	就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	3
5-2-c	より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか	3
実施状況等	学科会等で就職に関する情報を担任教員より各教員に共有・連絡をしている。各学科長が就職窓口となり、求人依頼先とのやり取りを行っている。	
確認資料	学科会議事録、求人依頼文書	

5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	4
5-3-a	企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	4
5-3-b	就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	4
5-3-c	履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	4
実施状況等	求人票は学生が閲覧できるようにファイルしている。 履歴書の書き方、面接の受け方などの時間を設け、指導している。	
確認資料	求人票、時間割、学校案内	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	4
5-4-a	入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っていますか	4
5-4-b	学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応できる体制がありますか	4
実施状況等	新入生に対してはより早期より、担任の教員による個人面談や1年次終了時期には三者面談を実施している。1年生と上級生との交流会を実施している。	
確認資料	学校案内、時間割、学生便覧、三者面談予定表	

5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	4
5-5-a	いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	4
5-5-b	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	3
実施状況等	担任の教員による個人面談を実施している。学生情報の共有を図っている。 学生間の親睦を深めるため、全学生参加のスポーツレクリエーション大会を実施している。	
確認資料	学校案内、クラス状況報告書、学科会議事録、学生便覧	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	4
5-6-a	公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	4
5-6-b	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	4
実施状況等	学生・保護者への各奨学金の案内をオープンキャンパス等で実施しており、奨学金についての相談を随時受け付けている。入学時の学費減免や、学費サポートプラン制度がある。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	4
5-7-a	学生に対し、定期健康診断を実施していますか	4
5-7-b	有所見者の再健診について適切に対応していますか	4
実施状況等	年に1回、全学生の定期健康診断を実施している。	
確認資料	健康診断個人票	

5-8	生活環境支援体制を整備していますか	4
5-8-a	遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	4
実施状況等	提携の不動産業者を通じて、本校の学生割引で安価にアパート・マンションの紹介が可能である。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

◎保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	4
5-9-a	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていきますか	3
5-9-b	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	4
5-9-c	緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	4
実施状況等	定期的に三者面談を行っている。また欠席が増えたり、気になる学生については、適宜保護者に連絡し連携を密に取るようにしている。	
確認資料	三者面談日程表	

◎卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	3
5-10-a	年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	4
5-10-b	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	2
実施状況等	データファイルに保存している。	
確認資料	データファイル	

5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	2
5-11-a	資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	3
5-11-b	再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	3
5-11-c	卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか	1
5-11-d	学校は同窓会との連携を図っていますか	1
実施状況等	社会福祉士は卒業後の国家試験受験になるため、年数回の本校卒業生対象の講座を開催 介護福祉士も不合格の場合は、国家試験対策への協力体制を整えている。	
確認資料	学生便覧	

5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	3
5-12-a	大学等卒業生の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	1
5-12-b	教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか	4
実施状況等	介護福祉士と保育士養成については、社会人の（主に失業中の方）委託訓練生を受け入れている。	
確認資料	委託訓練募集要項	

⑥ 教育環境

評価		4
----	--	---

評価結果 (総括)	本校は、2014年に新築移転しており、耐震構造の建物となっている。国の定める社会福祉士・介護福祉士養成所指定規則及び指定保育士養成施設の指定基準等に準拠した設備、備品等を備えている。校外の実習についても、各学科で教育課程に組み込み実施している。また各教室における環境整備にも取り組んでいる。	
取組状況と その分析	教育設備・備品は社会福祉士介護福祉士養成所指定規則及び指定保育士養成施設の指定基準等に沿って必要最小限度は整備され、メンテナンス体制も整っている。 校舎は耐震構造となっており、毎年新入生を対象とした防災訓練に関する取り組みも行っている。 各教室にプロジェクターを設置できるよう整備しており、各教室の環境整備にも取り組んでいる。	
今後の 改善方策等	教育上の環境や設備の整備は、状況に合わせた内容で引き続き行っていく。また防災に関する取り組みも新入生対象に行う必要がある。	

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	4
6-1-a	施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	4
6-1-b	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	4
実施状況等	社会福祉士介護福祉士養成所指定規則及び指定保育士養成施設の指定基準に準拠している。 教職員が清掃等美化に努め故障箇所等は随時対応している。	
確認資料	厚生労働省提出書類	

6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	4
6-2-a	校外実習等は、教育課程の中に組込まれていますか	4
6-2-b	校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	4
6-2-c	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	4
実施状況等	各学科とも国家資格等資格に直結する学科であり、カリキュラムの中で校外実習は必須である。 実習項目も指定が有り、その指定に則った実習を行っている。	
確認資料	指定規則・カリキュラム・シラバス	

6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	4
6-3-a	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出していますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	4
6-3-b	施設・設備の耐震化を図っていますか	4
実施状況等	本校は耐震構造である。	
確認資料	厚生労働省提出書類	

6-4	防災訓練等を実施していますか	3
6-4-a	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	3
実施状況等	防災訓練は新入学生および教職員参加で、年1回実施している。	
確認資料	消防署記録・防災避難訓練マニュアル	

⑦ 学生募集と受入れ

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	大学進学率の上昇・大学等無償化の政策などで大学志向が高まる中、前年度に比べてやや増加した。 一方で定員充足へは遠く、よりいっそうの効果的な募集活動を実施していく必要がある。 社会人入学者獲得に向けて、職業実践専門課程への申請が完了し、昨年に比べ大きく前進した。
取組状況と その分析	計画的な学校訪問、進学ガイダンス、体験入学およびオープンキャンパスを実施している。 社会人入学者獲得に向けて、職業実践専門課程への申請を実施した。 留学生の募集に向けて募集要項を策定し、教員も受け入れのための研修へ複数回参加している。 授業料納付金の取り扱いは適切に実施されている。
今後の 改善方策等	職業実践専門課程の認定後、専門実践教育訓練給付制度の登録申請を次年度めざし、社会人入学者獲得を強化する 留学生募集に向けて受け入れ先の開拓・日本人学校への周知・SNSの活用等推し進めていく。 高校生に向けて福祉の定着を図る為、出前授業や高専連携授業等を通じて継続して関心を持ってもらう方策を実施

7-1	学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	4
7-1-a	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	4
7-1-b	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	4
7-1-c	体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	4
7-1-d	入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	4
実施状況等	高校訪問、出前授業、各種説明会のみならず、LINEなどの新しいツールを活用した広報を実施している。また体験入学や学校見学会を毎月実施した。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

7-2	授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	4
7-2-a	入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	4
7-2-b	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応していますか	4
実施状況等	入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額について明示している。入学辞退者への授業料返還も適切に行っている。	
確認資料	学則、学生便覧、学校案内、募集要項、ホームページ	

7-3	社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	3
7-3-a	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	4
7-3-b	教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取り組んでいますか	3
7-3-c	給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	4
7-3-d	子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えていますか	2
実施状況等	長期人材育成コースの職業訓練生の受入も行っている。 専門教育訓練給付制度は、職業実践専門課程の認定に向けて取り組んでいる。	
確認資料	募集要項、職業実践専門課程関係書類	

⑧ 財務

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	開校以来、順調な財務内容を維持しているが、ここ数年の収支はマイナスである。
取組状況と その分析	受験者数の減少、人件費等の高騰による影響は大きい。
今後の 改善方策等	社会のニーズをいち早く分析し、学科構成・定員・学納金の見直しなども念頭においている。

8-1	学校及び設置者（法人）の収支、財政基盤は安定していますか	4
8-1-a	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	4
8-1-b	収入と支出のバランスが取れていますか	3
8-1-c	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	4
実施状況等	理事・評議員会において数値を提示されている。	
確認資料	法人理事会・評議員会資料	

8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	4
8-2-a	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	4
8-2-b	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	4
実施状況等	理事・評議員会において数値を提示されている。	
確認資料	会計報告書	

8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	4
8-3-a	会計監査体制のルールが明確化されていますか	4
8-3-b	会計監査の結果報告が文書化されていますか	4
8-3-c	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	3
実施状況等	理事・評議員会において監査報告されている。 財務情報の公開は、事務室にて閲覧できることをホームページにて周知している。	
確認資料	法人理事会・評議員会資料	

⑨ 法令等の遵守

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	法令に関しては、教育福祉専門課程の専修学校として、関連法令は遵守している。 自己評価に関しても、研修を実施している。
取組状況と その分析	法人においては、監督官庁に対して、申請届出を実施し、学校運営に必要な規定を整備した上で、適正に運用されている。 適切な自己評価を実施するために、内部質保証人材の講習を担当職員へ実施した。 職業実践専門課程の認定に向けて本年度申請が完了した。
今後の 改善方策等	関係法令の遵守や情報の取扱に関して、研修を通じて教職員の質の向上を目指す。

9-1	専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされていますか	4
9-1-a	監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	4
9-1-b	学校運営に必要な諸規程を整備し、それを適正に運用していますか	4
9-1-c	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規程を文書化し、対策を立て実行していますか	4
実施状況等	年1回の行政監督官庁への報告を始め変更が生じた際にはその都度変更届を提出している。 法人本部にハラスメントの相談窓口を設置するなどの対策を講じている。	
確認資料	監督官庁提出書類	

9-2	個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	4
9-2-a	個人情報の取扱いについて、規程・方針を策定していますか	4
9-2-b	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	4
9-2-c	リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	4
実施状況等	個人情報保護方針を策定して、個人情報の取り扱いも含めホームページに公開している。 個人情報保護の遵守は教職員間で確認している。	
確認資料	ホームページ	

9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	4
9-3-a	自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	4
9-3-b	実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	4
9-3-c	自己評価結果を報告書にまとめていますか	4
9-3-d	自己評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	4
実施状況等	文部科学省のガイドラインを参考に、学内での自己評価を実施し、ホームページにて公表している。	
確認資料	自己評価表、ホームページ、学校評価実施規定	

9-4	学校関係者評価を実施し、その結果を公表していますか	4
9-4-a	学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されていますか	4
9-4-b	実施のための組織体制を整備していますか	4
9-4-c	設置課程・学科の関連業界等から委員を選出していますか	4
9-4-d	学校関係者評価結果を報告書にまとめていますか	4
9-4-e	学校関係者評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	3
実施状況等	本年度は年度内に実施し、公表を行う。	
確認資料	学校関係者評価、ホームページ、学校評価実施規定	

9-5	学校の教育情報について、積極的に公開していますか	3
9-5-a	学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	3
9-5-b	「職業実践専門課程」認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新していますか	3
実施状況等	学校概要、教育内容の情報などは公開している。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	本校は福祉専門課程という特色を活用して、他団体や地域との連携や、キャリア教育にも積極的に貢献しており、高等教育機関として責務を果たしている。ボランティアについても、関連機関や関連団体から積極的に受け入れ、学生が参加できる環境を整えている。
取組状況と その分析	地域の施設や社会福祉協議会などの団体より数多くのボランティア依頼を受け、派遣に繋がることができている。高校生を対象にしたキャリア教育にも積極的に参加し、職業意識の向上に寄与できている。また学生による地域のイベントの協力や地域清掃活動も実施し、ひいては地域貢献にも繋がっている。
今後の 改善方策等	引き続き、関係機関や地域との連携・交流をさらに進め、より一層の社会貢献ができるよう努めたい。

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	3
10-1-a	地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）等を積極的に受託していますか	3
10-1-b	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	2
実施状況等	本校において関連業界の研修会などを受け入れている。 長期人材育成コース、公開講座などの受け入れを受託している。	
確認資料	研修会資料	

10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
10-2-a	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
10-2-b	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	4
実施状況等	学生は各種ボランティアに積極的に参加している。 教員は毎朝、清掃作業を実施しており、学生の模範となる行動を心がけている。	
確認資料	ボランティア受付票	

10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	3
10-3-a	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	3
10-3-b	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等（分野により研究・開発）を行っていますか	3
実施状況等	学生は積極的に各種イベントに参加し、献血活動も定期的に実施している。 業界団体、自治体等と連携した授業を実施している。	
確認資料	学校案内、ホームページ、行政出前講座関係資料	

10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	4
10-4-a	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	4
実施状況等	高校生を対象にした専各連等の出前授業に教員を積極的に派遣している。また、高専連携授業を通して職業教育を行ったり、学校見学会を積極的に受け入れている。	
確認資料	ホームページ、広報関係資料	

⑪ 総括

評価		4
----	--	---

評価結果 (総括)	学校評価を毎年継続しており、改善も見られている。引き続き、継続することで、業務改善を実施していく。また、関係者評価の結果も踏まえ、より業務改善に取り組んでいきたい。
取組状況とその分析	課題項目から改善した箇所があり、学校評価の取り組みが機能していると言え、本校の教育活動全体の改善に結びついている。また、学校関係者評価により広い視点でのご意見もいただき多くの課題に取り組んできた。更に職業実践専門課程の認定に向けた取り組みとして教育課程編成委員会を各学科年2回実施している。
今後の改善方策等	学校評価で達成できていない箇所の改善を行うとともに、評価項目についても見直しが必要と思われる。昨年度行った学校関係者評価や、各学科別でおこなわれている教育課程編成委員会において種々いただいた意見を反映させながら、今後の改善に活かしていきたい。

11-1	学校評価の実施について評価してください	4
11-1-a	学校評価の目的（何のために学校評価をするか）が、全ての教職員に浸透していましたか	4
11-1-b	学校評価を積極的に実施できましたか（受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか）	4
11-1-c	評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	4
11-1-d	学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	4
11-1-e	評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	4
実施状況等	各学科長を中心とし、昨年度と同様に文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に実施した。	
確認資料	自己評価書類	

4. 自己評価結果(総括)

評価	4
----	---

目標達成状況	○ 定員確保 1. 社会福祉学科 (29)% 2. 介護福祉学科 (20)% 3. こども福祉学科 (72)% ○ 各種資格取得 1. 社会福祉学科 ・社会福祉士受験基礎資格 (100)% ・保育士資格 (84)% 幼稚園教諭2種免許 (38)% 2. 介護福祉学科 ・介護福祉士国家試験合格率 (100)% 3. こども福祉学科 ・保育士資格 (94)% 幼稚園教諭2種免許 (100)% ○ 就職率 1. 社会福祉学科 (100)% 2. 介護福祉学科 (100)% 1名進学 3. こども福祉学科 (100)% ○ 退学者数 1. 社会福祉学科 (39)名中(4)名 2. 介護福祉学科 (17)名中(1)名 3. こども福祉学科 (75)名中(4)名
今後の課題・改善方策	・ 3学科共通課題 : 定員確保 1. 社会福祉学科 ・各種資格取得 ・卒業後の社会福祉士国家試験合格 ・就職率 100% ・退学率低下 2. 介護福祉学科 ・介護福祉士国家試験合格率 100% ・就職率 100% ・退学率低下 3. こども福祉学科 ・各種資格取得 ・就職率 100% ・退学率低下